

従業員向け	放課後等デイサービス評価表
-------	---------------

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		多様なニーズに対応できるよう仕切りを作るなど、状況に応じて対応している	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		常に6～7名を配置している	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。			○	バリアフリーなど不十分な点もあるが、発達特性に応じ環境整備を行い、個別の空間を作る等対応している
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			通勤後すぐに環境整備の時間を設け清潔に保っている
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			その日の利用者に応じ空間を確保するなど工夫している
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			月1回の全体ミーティングを実施し、業務改善を行っている
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			いただいた意見は即座に職員と共有し、話し合いのうえ解決している
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			月1回の全体ミーティングを実施し、業務改善を行っている
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			○	行っていない、今後必要性があれば検討する
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			施設内での研修を開催し、施設外での研修にも積極的に参加するように促している
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			ホームページに掲載している
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			保護者との面談によりアセスメントを行っている
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			担当者会議を実施し、共通理解を深めている
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			支援ソフトを利用し、いつでも閲覧できる体制になっている
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			支援ソフトを利用し確認している

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		子どもの特性に応じ、具体的に支援内容を設定し、個別支援を実施している
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		支援会議を実施し共通理解している
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		月1回のミーティングで話し合いを行い、修正している
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		週1回の支援会議を実施
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝のミーティングで実施
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎後のミーティングで共有している
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援ソフトにて実施
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6か月に一回のモニタリングと、必要性がある場合時実施
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		すべての項目が網羅できるよう計画を立て実施している
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自己決定を行う場面をあえて提供し、日々の活動を組み立てている
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達責任者のみでなく、保育士・児童指導員・機能訓練指導員が状況に応じれ参加している
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要性に応じ、各機関と連携し支援している
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎時など関係者と連携を図りながら情報共有をしている
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		担当者会議やサマリーなどを活用している
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		本年度は事例がなかったが、提供できる体制になっている
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		今後検討する
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		計画的には行っていないが、外出時など交流できる場面があれば積極的に行っている
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		できていない

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		ICTを活用し、いつでも情報共有できるような仕組みにしている
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	できていない。来年度は実施予定
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に実施。不明点があればいつでも対応している。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		LINEなどでいつでも相談できる体制があり、その都度対応できている
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画書の説明を行い、サインをいただいている
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		いつでも相談できる体制を整え、電話・LINEでも対応している
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○	できていない。来年度は実施予定
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		様々な形で意見をいただけるようにしており、苦情等があれば即座に全職員へ共有し対応している
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		SNSを積極的に活用している
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		法令遵守している
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		絵カードの利用など、特性に応じた対応をしている
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	できていない。交流する機会をつくりたい	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルは法令に沿って策定している。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		できている
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アセスメント時に確認している
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		服薬当の対応が必要な場合は、必ず医師からの指示所をもらっている
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		年度初めに安全計画を策定し、研修を実施している
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	家族への周知はできていない。来年度は実施

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを各職員提出し、共有している
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		委員会を設置し、研修を実施している
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		事例はないが、委員会を設置しいつでも対応できる状況